

研究課題名	T1b 食道扁平上皮癌における腫瘍浸潤リンパ球によるリンパ節転移予測因子の検討
研究期間	実施許可日 ~ 2024年 12月 31日
研究の対象	2007年11月1日から2019年12月31日の期間で、当院で表在型扁平上皮癌（SESCC）に対して内視鏡的または外科的に治療を受けられた方
研究の目的・方法	腫瘍微小環境において、単球、樹状細胞、マクロファージ、リンパ球は抗腫瘍反応に複雑に関与しています。これまで様々な腫瘍浸潤リンパ球（TILs）のサブタイプが同定されており、様々な種類の癌で予後と関連していることが報告されています。食道扁平上皮癌（ESCC）においても、進行癌では TILs が予後と関連する可能性を示されていますが、SESCC における TILs の意義は明らかになっていません。そこで今回、SESCC における TILs の役割を明らかとすることを目的に、この研究を計画しました。
研究に用いる試料・情報の種類	本研究は、診療録（カルテ）情報と切除標本を用いて調査を行います。カルテから使用する内容は、性別、年齢、内視鏡所見、病理組織所見と臨床経過です。切除標本のブロックから未染スライドを作成し、CD4+、CD8+、FoxP3+TILs に対して蛍光免疫染色を行い、それぞれの密度や数をカウントします。個人を特定できる情報は解析に用いません。
外部への試料・情報の提供	ありません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院消化器内科 教授 岡 志郎
その他	ありません。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 消化器内科

担当者：卜部 祐司

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5955